

2015 - 16年度 RI テーマ



世界へのプレゼントになろう

Rotary International  
国際ロータリー会長  
K.R. ラビンドラン



四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

ベテランと若手の団結で  
品格あるロータリー活動を!

第2660地区  
八尾東ロータリークラブ  
YAO EAST ROTARY CLUB  
●創 立: 1973年2月23日  
●会 長: 上田 郁生  
●幹 事: 上山 惣太  
●会報委員長: 堀内 伸也

今週のプログラム

第2059回例会

- ① 開会 点鐘
- ② ソング 「奉仕の理想」
- ③ ビジターの紹介
- ④ 会務報告  
「会長の時間」「幹事報告」
- ⑤ 委員会報告  
「出席報告」「各委員会」「ニコニコ報告」
- ⑥ 第2回クラブフォーラム  
会員組織委員会部門  
品川 芳洋 会員組織委員長  
代理 池本 繁喜 会員増強委員長
- ⑦ 閉会 点鐘

来週の予定

第2060回例会 9月25日(金)

☆卓話「85年の回顧」奥田 長二 会員

\*例会前: 第1回指名委員会

前週の例会記録

2015年9月11日(金)

出席報告

例会数	会員数	出席数	出席率	備考
第2058回	27名	17名	70.8%	出席義務免除 4名(出1)
第2056回	27名	19名	79.2%	補 填 1名

ニコニコ箱

- 桑田さん、卓話楽しみです。おすすめのお城教えて下さい。 上田 郁生 会員
- 桑田さん、お城の歴史楽しみです。ついでにあなたのお城も一緒に紹介して下さい。  
・ちょっと秋らしくなりましたが、まだまだ暑い日があると思います。頑張りましょう。 奥田 長二 会員
- 桑田さん今日の卓話楽しみです。池本 繁喜 会員
- 桑田さん、卓話たのしみです。 大橋 秀造 会員
- 桑田さん卓話楽しみにしています。 森下 慶治 会員
- 「線状降水帯」よ早く去れ! 鈴木 洋 会員
- 桑田さん卓話楽しみにしています。 山田 哲男 会員
- 桑田さん卓話よろしく! 長尾 穰治 会員
- 桑田さん卓話楽しみです。 武田 大輔 会員

●今回合計 4,000円

◎累計 193,610円

会長の時間

台風17号、18号による大雨で甚大な被害を受けられた北関東ならびに東北地区の皆様にお見舞い申し上げます。

国会では安全保障法案の審議が進んでいますが、それを受けて全国で法案反対のデモが若い世代を中心に行なわれています。若い人が政治に興味を持つことはいいことだと言われてはいますが、報道などでデモの様子を見ていると法案に対してのコメント

★例会場: (株)西武百貨店八尾店8階バンケットルーム TEL:072(997)0111 内線5580 ★例会日時: 毎週金曜日12時30分

★事務所: 〒581-0803 大阪府八尾市光町2丁目60番 西武百貨店内 TEL:072(997)0626 Fax:072(997)2620

★http://www.yaohigashi.org/ E-mail:yaohigashi@japan.email.ne.jp

はなく、首相個人に向けた批判ばかりでした。しかも汚い言葉で罵る姿しか報道されていません。法案の内容も理解しないで「戦争」という「ワード」に反応してデモを行なっているとしか思えません。これは政府の法案に対する説明が不十分な事が原因だと思われまます。メディアも反対デモばかりを取り上げ、賛成意見はほとんど取り上げていません。私もあまり理解はできておりませんが、個人的には「戦争法案」ではなく、国を守るための法案だと思っています。

先進帝国の中では日本の国防費は多くありません。自国のみで国を守るのは難しい状況だと思います。集団的自衛権は多くの国で認められていますが、戦争に参加した国は1国だけというデータもあります。戦争には巻き込まないことを明確にし、同盟国と協力して自国を守ることが賢明な気がします。

## 幹事報告

- ①9/4 の理事会で指名委員会のメンバーが決定致しました。宜しくお願い致します。
- ②12/4、5 の地区大会の参加申込書を配布しております。12/5 (土) 12:00～ 当クラブの移動例会を開催致します。出欠のお返事を9/25 (金) までに事務局までお願い致します。

## 卓話

### 「お城の歴史物語」

桑田 タア子会員



近年、お城ブームで多くの観光客が訪れ、賑わっています。2万5千～4万上もあるとも言われているお城ですが、その中には廃城で取り壊され石垣だけのものや、柵などで囲われた砦のような城塞も入っています。

今話題の天空城（日本のマチュピチュ）と人気を博している竹田城址や、最高所（430m）に立つ備中松山城は深い雲海に浮かぶ天守の姿は、幻想的でまさに天空の城に相応しいお城です。

まだまだ知られていない城跡があるのではないかと思います。

元和元年（1615年）一国一城令が下された事に依り、多くの城が廃城になりました。戦国時代から江戸時代末期に建造されたお城の数は200城を切り、そのうち天守閣があった城は70程しかなかったのです。

明治時代の廃城の危機や戦争による被害を乗り越え、現在まで往時の姿を残しているのはわずか12城です。現存する12城の天守はいずれも、国宝や重要文化財、ユネスコ世界遺産登録にも指定されている名城です。

●姫路城（白常城） 国宝 ユネスコ世界文化遺産登録 正平元年（1346年）赤松貞範が姫路に築城、その後、城主は羽柴秀吉、池田輝政、本田忠政、酒井忠恭、次々に城主が変わり、その度、増改築され保存されて来ました。明治時代に全国の城が解体、廃城になりましたが、この天下の名城を廃城にするには忍びないと、時の陸軍大佐 中村東遠が、山縣有朋に訴え、後世に残し保存される事になりました。今年、5年半に及ぶ保存修理を経て白亜の連立式天守が蘇りました。

●松本城 国宝 姫路城の白に対し松本城は「烏城」黒の瓦が美しく青空と白い雪化粧が映え一段と美しい城です。天正18年（1590）石川数正が城の普請にかかる。松本城は決して華美ではないが、無駄を省いた質実剛健な美しさがある。貞享3年（1686）に大規模な一揆があり、年貢一俵あたりの容量を三斗から三斗五升に引き上げる決定を下した。松本藩は近隣の藩が採用している二斗五升より高い重税で、農民たちの困窮を見かねた庄屋の多田加助を中心とした同志が、五ヶ条の訴状を認め、郡奉行に訴えでた。農民たちも加勢し城下へ押し寄せ、一旦は年貢減免を約束されるが、その後、多田加助をはじめ首謀者8名とその家族が捕らえられ、磔や獄門という極刑に処されます。「二斗五升、二斗五升、二斗五升、」という声が響き渡る、その際、加助の怨念が松本城天守を傾けたと言うのですが…明治の大修理で天守の歪みを直す事ができた。

●松山城 重要文化財 加藤嘉明が情熱を注ぎ25年もかけて普請した松山城は標高132mの勝山の山頂に築いた連立式天守を持つ平山城。羽柴秀吉と柴田勝家の争い「賤ヶ岳の戦い」に秀吉側に参戦し目覚ましい活躍をした七名の武将、その7本槍の一人 加藤嘉明。築城は五層の天守を誇っていましたが、徳川家に属する松平定行が城主となり立派過ぎる天守を三層に改築する。

●彦根城 国宝 慶長9年（1604）井伊直継 着

工当時、大阪冬、夏の陣を挟んで前後2期、約20年がかりで完成、大阪城包囲網の一つとして、彦根城は軍事的な要。そのため幕府から6名の普請奉行が派遣され、急ピッチで築城が進められ、数年でほぼ完成する。弟の直孝の時代にも藩単独で工事が続けられ、元和8年(1622)に完成。譜代大名筆頭・井伊氏の居城として受け継がれ(1871)年 廃藩置県後の解体の危機にも、明治天皇への大隈重信の奏上などにより回避され、「月明・彦根の古城」として琵琶湖八景の一つにも数えられています。

- 弘前城 重要文化財 慶長16年(1611)完成、初代藩主は津軽為信、津軽家が幕末まで津軽一国を支配できたのは古くはアイヌ、ロシアという北方勢力の脅威に対する国防の拠点としての役割を強調し、また南部・伊達など東北地方の外様大藩に北から睨みを利かした。津軽家12代の歴史を物語る総構えの壮大なる名城、現存の天守の中で最北端に位置する城です。
- 犬山城 国宝 犬山城の別名(白帝城) 江戸時代白帝儒学者・荻生徂徠が、李白の詩にある白帝城に似ていると名付けたといわれる。1537年 織田信康が近くの木之下城をここに移す。木曾川を背にした城は、こちら側愛知(尾張)対岸は岐阜(美濃)の国境に位置し、戦国時代には争奪が繰り返された国盗りの要所だった。一年間で城主が4人も替わった。羽柴勢と織田、徳川勢が覇権を競い城主が激しく入れ替わった城
- 松江城 国宝・重要文化財 慶長5年(1600)城主 堀尾吉晴 山陰地方で唯一、現存する天守として、その名を知られる松江城、関ヶ原の戦いの後に築かれながら、その漆黒の外観や、極めて実戦的な構造が特徴である。織田信長の安土城、豊臣の大坂城の面影を宿した、松江城天守の特徴は「黒さ」松本城や熊本城天守のような黒い板張りで古武士のように無骨な外観。独特の優美な風格を生んでいる。
- 高知城 重文 慶長6年(1601)関ヶ原の戦いの功績により土佐24万石を与えられた山ノ内一豊によって築城された。日本で唯一、本丸の建築群がすべて現存する四国の名城。高知平野の中央に位置する大高坂山の上に築かれた。土地の利の良いこの地を城地に定め、幾多の難航を乗り越え10年かけてほぼ全容が完成。その後、

享保12年一部の建物を残し焼失するも、20年以上かけて復興を遂げる。堅固な防御と雨の多い気候への工夫、そして、南国ならでの開放感は、現存天守の中でも際立った个性的なお城。

- 丸岡城 重文 天正3年(1676)天下統一を目指す織田信長にとって北陸の平定は、反対勢力の他国、越前一向一揆も抱える有数難関であった。ようやく天正3年(1575)この地を制圧し、柴田勝家が越前領主となる。慶長17年(1612)から36年にわたって領主を務めた本田成重は戦場からの手紙で、「一筆啓上 火の用心 お仙泣かすな 馬肥やせ」と妻に送った手紙は、一番短い手紙として有名で、丸岡城に伝わる逸話となっています。
- 備中松山城 重文 鎌倉時代(1240)相模出身の豪族 秋庭三郎重信が砦を築く。戦乱の世 城主は次々に替り、備中の覇権を巡って争奪の歴史を展開した城。現在残る天守は1683年2代水谷勝宗が改修、水谷氏は3代で家が絶え、領地は没収された。この時、受け取りに乗り込んだのが赤穂藩の大石内蔵助、その7年後に赤穂藩もお家断絶となります。山陽山陰の戦略上の拠点となった城の長い歴史は中世の砦から始まる。
- 丸亀城 重文 慶長2年(1597)生駒親正が高松城の支城として築き始めたのが丸亀城、元和元年(1615)一国一城令が下され一度廃城となる。その後丸亀藩が新しく立藩。山崎家治、京極高和と目まぐるしく城主が変わり、万治3年(1660)に城は現在の形に整えられた。技術の粋を集めた美しい石垣に小さな天守が凜と佇む。
- 宇和島城 重文(1596)藤堂高虎は(城作りの名人)6年かけ濠を造り石垣を回し、天守以下大小数十の櫓を持つ強固な城郭を築く、高虎が宇和島城の完成と同時に今治に移封した後に、伊達政宗の子、伊達秀宗が入城。以後、明治維新まで伊達家の居城となる。戦国期を経て、泰平の世に修築。海を望みつつ静かに佇む孤高の城「凝然と青い空を支えて、その孤独さは悲痛なほど」と司馬遼太郎は宇和島城の姿を評してそう書いていた。領土を拡大しようとする武将たちの野望、戦いに敗れ落城を余儀なくされた城主たちの悲しみが刻まれているお城「戦国時代の兵どもが夢の跡」

以上



第2660地区  
八尾東ロータリークラブ  
**YAO EAST ROTARY**